

裏磐梯図鑑 No.48

ツグミ

地面をピョンピョン飛び跳ねる「ホッピング」
脚を交差させて歩く「ウォーキング」
両方の歩き方ができる鳥です。
ホッピングの様子が馬が跳ねている様に
見えることから別名を鳥馬(ちょうま)といいます。



観察しやすい冬鳥

夏の間はシベリアなどの北の地域で過ごし、冬になると日本にやって来る鳥を「冬鳥」といいます。冬鳥のなかでも、とくに観察しやすく、バードウォッチングがはじめての人にもおすすめなのがツグミです。

ツグミは体長24cmほどで、スズメより少し大きな鳥です。目の上の白い模様と、おなかにある黒いまだら模様が特徴です。

裏磐梯では、雪がふる前の11月上旬ごろから、雪がなくなる4月下旬ごろまで観察できます。

雪が積もっている時期は木の実を食べ、地面に雪のない時期は歩き回って土の中の小動物を探します。季節に合わせて探してみると、見つけやすいかもしれません。

珍しい種類も見つけられるかも？

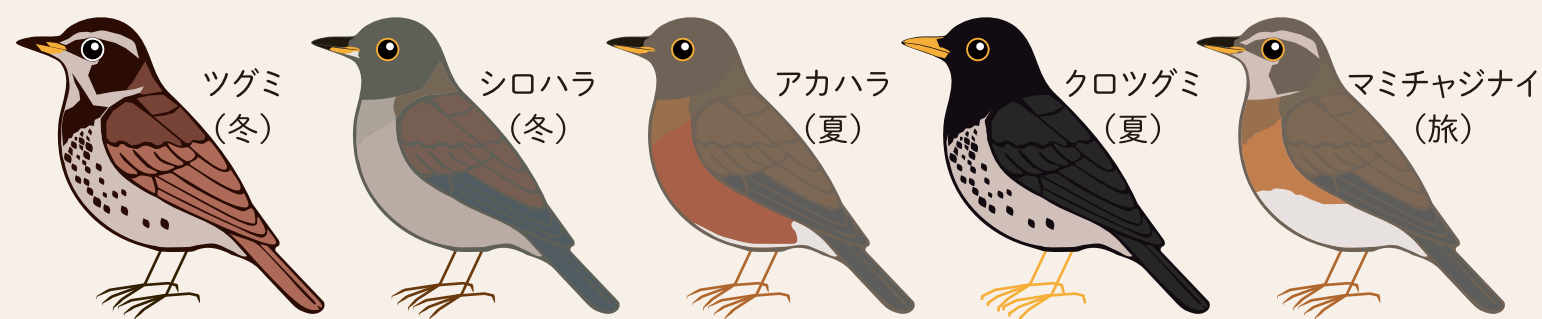
裏磐梯には、別の種類のツグミの仲間がやって来ることもあります。ハチジョウツグミは見た目がツグミによく似ていますが、顔の色が薄く、おなかのまだら模様が赤っぽいのが特徴です。

ハチジョウツグミもツグミと同じ冬鳥ですが、数が少ないため、出会えたらラッキーな鳥です。

また、悪天候などの影響で、たまたま日本にやって来てしまった鳥を「迷鳥」といいます。ツグミの仲間でも、日本国内でこれまでに数種類の迷鳥が記録されています。注意深く探してみると、思わぬ出会いがあるかもしれませんね。もしかすると、福島県ではじめての記録が、ここ裏磐梯からうまれるかも…？

裏磐梯のツグミコレクション

※(冬)…おもに冬にみられる鳥 (夏)…おもに夏にみられる鳥 (旅)…おもに春と秋にみられる鳥



自然解説員の巡視日記

2025 年の自然情報

2026年は干支であるウマが力強く駆け回る姿から、前進や飛躍、活力といった、活発なイメージの一年になるといわれています。裏磐梯ビジターセンターも、さまざまな場所を駆け回り、磐梯朝日国立公園の自然の魅力を、たくさんお届けできる一年にしたいと考えています。

さて、そんな2026年の始まりにあたり、2025年がどのような一年だったか、振り返っていききたいと思います。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

最低気温（-16.3℃）※	2月12日	
クロサンショウウオの卵塊初確認	4月17日	
裏磐梯VCリニューアルオープン	4月18日	
桜峠のサクラ見ごろ	4月27日	～ 4月30日 頃
クマ目撃第1報	4月29日	
エゾハルゼミ初確認	5月21日	
雪が解けず磐梯山の山開きが延期	5月25日	
磐梯山山開き	6月15日	
雄国沼のニッコウキスゲ	6月24日	～ 7月5日 頃
中村征夫氏の講演会を開催	7月21日	
最高気温（31.8℃）※	8月4日	
喜多方市で講演会を実施	10月3日	
ビジターセンター周辺の紅葉	10月28日	～ 11月6日 頃
磐梯山の初冠雪	10月29日	
ビジターセンター周辺で初積雪	11月18日	
磐梯山の火山性地震が増加	12月1日	

※気象庁 アメダスより桧原地区

2025年の1月・2月はとにかく雪が多く、除雪が大変でした。桧原湖の北では、多い所で4mを超える積雪もあったとか。
ビジターセンター本館では、4月18日に長かった改修期間をようやく終え、リニューアルオープンとなりました。当日は屋外で記念の式典とマルシェイベントを行いました。そのわずか2日前にも大雪となり、本当にオープンできるのか、とても心配になったことを覚えています。

グリーンシーズンは、全国的にクマの話題でもちきりでした。裏磐梯では事故は起こりませんでしたが、ビジターセンターを訪れたお客さんからも心配の声を多くいただきました。とはいえ裏磐梯はそもそもツキノワグマの生息地です。クマ鈴を鳴らすなどの対策は忘れずに！



2025 年 1 月 10 日▶
身長 175cm の私が手を
伸ばして届くくらいの積雪深です

ようこそビジターセンターへ

展示紹介 — 休憩室 —

Welcome



展示改修にあわせて新設された休憩室では、飲食が可能です（※販売は行っていません）。ペレットストーブを設置しており、揺らめく炎を眺めながら、暖かな室内でゆっくり休憩できます。

また、晴れた日には窓から西大巔や西吾妻山を望むことができ、冬季には山スキーを楽しむスキーヤーの姿が見えることもあります。

お昼休みのご利用や、体を温めるだけの立ち寄りも大歓迎です。ぜひお気軽にお越しください。

休憩室から望む西大巔▶
窓辺にもカウンター席があり、
吾妻連峰を望みながら飲食ができます。



◀休憩室
ペレットストーブで
エコに暖をとれます



冬のイベント案内 「スノーシュー体験＋ミニ観察会」

スノーシュー初心者を対象に、1時間程度の体験イベントを実施します。
自然解説員スタッフ(+国立公園パークボランティア)が安全にスノートレッキング・
自然体験を行えるようレクチャーを行います。

開催日：2026年1月～3月の金・土・その他指定日（HPをご覧ください）

時間：11時～12時・13時～14時

場所：裏磐梯ビジターセンター 施設周辺

申込：施設にて当日受付（予約不可）

参加費：ひとり2,000円（スノーシューレンタル料金・イベント保険料を含む）

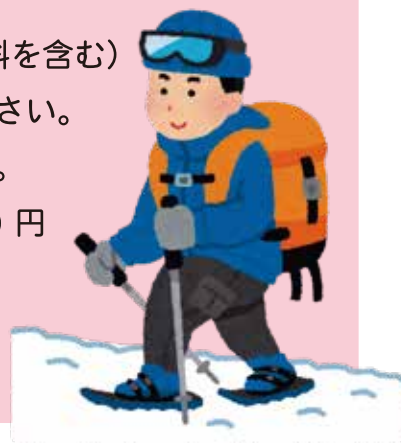
備考：荒天中止 温かい服装（スキーウェア・防寒着）でお越しください。

未就学児以下のご参加およびペット同伴はお受け出来かねます。

スノーシューご持参の場合は、ミニ観察会を料金ひとり1,000円
にて承ります。

長靴レンタル500円も別途利用可能です。

（23～28cm、個数に限りあり）。



冬のイベント案内 「第19回裏磐梯ビジターセンター研究発表会」

裏磐梯ビジターセンターでは、毎年冬に、磐梯朝日国立公園やその周辺で研究を行った
大学生や高校生、一般団体の研究や活動成果を発表する「研究発表会」を行っています。

地域を探究する研究者たちと交流できるチャンスです。是非お越しください！

場所：裏磐梯ビジターセンター レクチャールーム

会期：令和8年3月8日（日）10:00～12:30（予定）

発表形式：スライド等を使用した、口頭発表およびオンライン上での発表

参加
無料



↑聴講申込はこちらのQR
もしくはHPから



磐梯朝日国立公園 裏磐梯ビジターセンター

〒969-2701 福島県耶麻郡北塩原村大字松原字剣ヶ峯 1093-697

【電話】0241-32-2850 【FAX】0241-32-2851 【ウェブサイト】http://www.urabandai-vc.jp/

裏磐梯だより 2026年2月 No.133 [企画・発行] 裏磐梯ビジターセンター自然体験活動運営協議会



HP



X



Instagram

裏磐梯だより

No.133

2026年2月



磐梯朝日国立公園 裏磐梯ビジターセンター



「オシダ」

五色沼自然探勝路の林床いっぱいに広がる大型のシダです。
まるでジュラシックな世界を思わせる姿ですが、ひと昔前には根
を駆虫薬として利用していた、意外と身近な植物でもあります。
毒性があることが判明したため、現在は使用されていませんが、
漢方では「綿馬（めんま）」と呼ばれています。
「ワタの馬」と書く名前は、どこかファンシーですね。

裏磐梯図鑑 No.48
ツグミ

自然解説員の巡視日記
2025年の自然情報

ようこそビジターセンターへ
展示紹介 — 休憩室 —